

幾千の年月を越え、
この町に会いに来た



第33回芝山はにわ祭

古代の息吹を感じる日

山々が秋色に染まり、ひんやりとした風が吹き始めた11月8日。町の一大行事「芝山はにわ祭」が開催されました。古代の衣装に身を包み、化粧を施した町内の小・中学生が扮する、“古代人”は祭の見どころの一つ。今年も殿塚・姫塚古墳において、「降臨の儀」が行われました。その後、荒天により一部の儀式が中止となりましたが、同時に開催された「商工まつり」、「産業祭」は、はにわ祭を楽しみにしていたたくさんの人たちでにぎわいました。



2



1

はなやかな特別ゲスト

①町観光親善大使の永尾まりやさんのトークショーには、来場者やファンが駆けつけ、盛り上がりを見せた②森田健作千葉県知事も登壇し、「雨ですが、皆さんの顔を見て晴れやかな気持ちになりました」とあいさつを行った

にぎわう会場

①地元産のお米を使用したモチの配布には、長い列ができた②芝山古墳はにわ博物館で行われた「火おこし」で、古代の生活を体験③直接生産者から地元産品が購入できる産業祭



③



②



①



②



①

わくわくステージ

①芝山町オリジナルソング「Wish～希望の足跡～」が、小・中学生の有志10名によって披露される②商工まつりでは、ウルトラクイズや大モチ投げ大会など、日頃お世話になっている皆さんへの感謝を込めたイベントが開催

来年も、また、ここで...

